

# 名古屋栄三越 3月の美術催物

日曜	7階		8階	
	特選画廊	美術サロン	ジャパネスク ギャラリー	ジャパネスクコート
1 木	<b>アメリカの感性と魂 バーニー・フュークス展</b> 1950～60年代、全米で最も活躍したイラストレーターとして有名となったバーニー・フュークス。日本でもメディアで特集が組まれるほどの人気を持つ自身が描いた原画や版画30余点を展観。	<b>一佐賀県伝統的地場産品指定ー 鍋島緞通吉島家展</b> 江戸寛文年間より佐賀藩主に愛用され、将軍家への献上品であった「鍋島緞通」。その日本特有の木綿の風合いは、四季によりそい、使い込むほどに味わいを増してゆきます。新作や古典柄を一堂に取り揃え、展観いたします。	<b>高橋みはる レザークラフトアート展</b> 革の手作りバッグと小物を作り続けて、40年余。修練と経験に裏打ちされた手仕事の世界をお楽しみください。アートと呼べる作品、その仕事は多くのファンを魅了しています。	<b>富田海友パール&amp; 天然素材のアクセサリー展</b> 天然の石に魅せられて、さまざまなデザインの品のづくりをする、富田の作品展です。  <b>i-Design Studio 天然素材で作るオーダー服</b> 自ら、デザイン、パターン興し、縫製まで手掛ける石川の展示会です。パターンオーダーにて、お一人お一人のお好みに合った洋服を提案します。
2 金				
3 土				
4 日				
5 月				
6 火	<b>陶芸巨匠展</b> 物故巨匠から現代作家までの花器や酒器、茶器などの幅広い作品を一堂に集め展観。  <出品予定作家> 荒川豊蔵 井上萬二 加藤卓男 加藤孝造 金重陶陽 富本憲吉 藤本能道 加藤唐九郎 岡部嶺男 石黒宗磨 清水卯一 浜田庄司 河井寛次郎 徳田八十吉 藤原啓 藤原雄 十一代三輪休雪 近藤悠三 塚本快示 鈴木藏 三代山田常山 吉田美統 北大路魯山人 他 (順不同・敬称略) ※出品作家は変更になる場合がございます。	<b>立川広己 洋画展</b> ～パワーを放つ神秘的な色彩～  パワーを放つ色彩とリズミカルなタッチで描く作家の新作展。人々の生活に潤いと喜びをもたらしてくれるダイナミックな花々を描いた作品を一堂に展観。  1949年 東京都生まれ 1972年 武蔵野美術大学卒業 1985年 上野の森絵画大賞展佳作賞受賞 1990年 自由美術展佳作賞受賞 1991年 現代洋画精鋭選抜記念大賞金賞受賞	<b>松永真哉作陶展</b> 美濃で陶技を修得後、故郷熊本にて精力的に作陶しています。桃山時代的美濃焼と、現代的美濃焼を両立させた、幅広く完成度の高い作品の数々をご高覧ください。	<b>アトリエショウコ レースウエア展</b> レースウエアで人気の渡辺のウエア展。レースの素材をいかした、多彩で、豊富な品揃えをお楽しみください。
7 水				
8 木				
9 金				
10 土				
11 日	<b>稲葉彰 画展</b> バリの町を気の向くまま歩き回りスケッチをする作家の2年ぶりとなる新作展。人が住みそこに生活する街をテーマに描いた作品の数々を展観。  1954年 岐阜県生まれ 2016年 名古屋三越初個展 2017年 国展(国画会)入選 2018年 サロントゥヌ(フランス)会員  NHK文化センター岐阜絵画講師 フランス芸術家協会会員 愛知芸術文化協会会員	<b>陶磁 柏萌会展</b> 愛知県立芸術大学陶磁専攻の卒業生による新作グループ展。今展は銘々皿を中心に染付・鉄絵・上絵技法などを施した個性あふれる作品を一堂に展観。  <出品作家> 明石朋実 久野笑加 福島由子 森本静花 兪期天 (50音順・敬称略)	<b>中嶋 紫都 漆ファッション展</b> 布地と漆のコラボレーションによる、オリジナルのテキスタイルを用いた、バッグ・ウエア・小物など、ファッショングッズの数々をご紹介します。	<b>木工&amp;硝子展 中村幸人・山中俊輔/ 中井亜矢 ～春の調べにのせて～</b> 楽器、音楽をモチーフとする木工作家中村。さまざまな色と表情を持つ木の魅力を引き出す山中。中井は、カットした板ガラスをパズルのように組み合わせ、窯に入れて焼くキルンワークという技法で、食卓が楽しくなる食器などを提案します。
12 月				
13 火				
14 水				
15 木				
16 金	<b>貝殻忌 没後75年 新美南吉を偲んで 俊英作家作品展</b> 半田市出身の児童文学作家・新美南吉がなくなり75回目の命日(貝殻忌)を迎えます。この期にあわせて、俊英作家10名による作品を展観いたします。新美南吉を偲んだ作品とその思いをご高覧ください。  <出品作家> 石原雅詩 稲葉彰 岡田敏幸 桑原聖美 社本奈美 杉藤由佳 中川知洋 服部しまり 山川光里 吉田友幸 (50音順・敬称略)	<b>水津和之 茶陶展</b> 高麗茶盤に見られる梅花皮(かいらぎ)の研究に力を注ぎ作陶を続ける作家の2年ぶりとなる新作展。柔らかな土味による萩茶盤を中心に花器、酒器などを一堂に展観。  1960年 山口県生まれ 1982年 萩にて作陶を始める 2005年 茶の湯の造形展入選 2007年 日本陶芸展入選	<b>ASKA MASUDA -artisan series-</b> 幼少期育ったインドネシア、26年間暮らしたインドネシア、そして母国である日本。ゆかりのある3つの国の素材と、もの作りの伝統を融合させユニークに表現した新しい世界観のバッグです。	<b>江戸べっ甲 細野敏雄</b> 江戸べっ甲細工の継承者細野の、伝統を引き継ぐ匠の技をお楽しみください。  <b>藤井孝子 パッチワークの洋服展</b> 古布を使いパッチワークの洋服を作り続ける藤井。選りすぐった古布を集め、洋服に仕立てる技は逸品です。
17 土				
18 日				
19 月				
20 火				
21 水	<b>JAPAN・CONTEMPORARY ART</b> 今、日本の現代アートが海外でも注目されています。日本の社会・文化などに根差しながらも、現代社会のグローバルな現状を反映したアーティストたちの作品は地域や世代を超えて共感を得ています。アーティストたちの知性と感性をお楽しみください。	<b>小割哲也作陶展</b> 雄大な富士の裾野、富士宮で作陶を続ける作家の名古屋三越初個展。穴窯焼成による信楽、志野や織部などのダイナミックな自然釉の作品や、個性あふれるオブジェなどを一堂に展観。  1970年 静岡県生まれ	<b>平野 健 染の美 創作服展</b> 染とシルクの織り成す美しさに魅せられた平野がたゆまない創作服への探求を結実させたシルクウエアを提案します。	<b>idea note春らんまん 麻の装い/ 宝石のアライズ 鎌倉のオシャレ展</b> アイデアノートから滋賀の天然素材を使ったウエアや雑貨をご紹介します。40年の実績を持つ宝石のアライズが、天然パールを主としたオリジナルアクセサリーを展開します。
22 木				
23 金				
24 土				
25 日				
26 月				
27 火				
28 水				
29 木				
30 金				
31 土				

(各催物の最終日は午後5時終了)※但し、ジャパネスクコートは最終日午後7時30分終了 催物は予告なく変更する場合がございます。予めご了承くださいませ。

営業時間/午前10時ー午後7時30分

this is japan.

MITSUKOSHI

名古屋栄 〒460-8669 名古屋市中区栄3-5-1  
TEL/052-252-1111(大代表)  
http://nagoya.mitsukoshi.co.jp

